

# 北海之光

## 4月号 北海道教区報

祝福されよ 主に信頼する人は

エレミヤ書 17章 7節

発行所 北海の光社

001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nshk-hokkaido.jp

http://www.nshk-hokkaido.jp

発行人 植松 誠

### 神 殿

—ヨハネによる福音書二章一三〜二二節—

司祭 ミカエル 広谷和文

紀元三〇年の過越祭のことです。イエスはエルサレムの神殿に姿を現されました。エルサレムの中心は神殿です。そればかりか、ユダヤ人にとって神殿は全宇宙の中心でもあったのです。

この神殿の庭に、羊や鳩を売る人々、両替人がいました。羊や鳩は人々がそれを買って犠牲として捧げるための家畜です。両替人がいたのにも理由があります。すでにそのころからユダヤ人は、世界の多くの国々に住んで活躍していました。このような外国に暮らしている多くのユダヤ人も過越祭にはエルサレムにやってきたのです。

彼らの捧げる献金は本国のユダヤ人に大きな富をもたらしました。ところがそのお金は、当然彼らの住んでいる国々で使われていた貨幣です。祭司たちは、それは外国人も触った汚いお金だと主張

しました。そこで両替というものが必要となつたのです。外国から持ってきた汚いお金を高い手数料を取ってメイド・イン・イスラエルの綺麗なお金に交換する、それが両替人の仕事でした。シヨバ代を稼ぐ祭司たちにとつてもそれはこたえられない商売であつたのです。正当な経済活動とは言いかねるこのような商売に神殿を利用する人々に対してイエスは公然と怒りをあらわされました。そして、縄で鞭を作り、羊や牛を境内から追い出し、両替人のテーブルをひっくり返したと言っています。

それは私たちにとつてシヨツキングな光景ではないでしょうか。私たちも含め近代のクリスチャンの多くが思い描いてきたのは、「優しくて柔和なイエス」というイメージであつたからです。しかし、福音書に描かれている

のは、決して優しいだけのイエスではありません。そこには、正義を踏みこむ者や理不尽な差別に加担する者に対して激しく怒るイエスがおられるのです。民衆の素朴な宗教心を利用して、私腹を肥やしていた商人や莫大な収益を得ていた神殿の祭司たちに、鞭を持って挑戦するイエスなのです。

商人たちも黙ってはいません。彼らはイエスに「こんなことをするからには、どんなしるしを私たちに見せるつもりか」と迫ります。イエスは、「この神殿を壊してみよ。三日で建て直してみせる」と応酬しました。その場にいたユダヤ人たちは(そして弟子たちにも)思い及ばないことでしたが、ヨハネによると、三日で建て直される神殿とは、復活のイエスご自身のことであつたのです。この復活のイエスこそ私たちの神殿に他なりません。

人間が神と出会う場が神殿です。神と出合い、神と交わる場を私たちは神殿と呼ぶのです。長い間ユダヤ人にとつて、エルサレムの神殿は人間

が神に出会う唯一の場所であるとされてきました。しかし、今私たちは、エルサレムの神殿ではなく、イエス・キリストにおいて神と出合い、神との交わりに生きるのです。

古い神殿はその使命を終えました。境内で商売する人々のあこぎな姿や祭司たちの腐敗がそのことを象徴しています。そして、その神殿の役割を本当に終わらせるために、イエスは鞭を持って立ち上げられたのでした。

古い神殿のあとに、新しい神殿が建てられました。十字架の死によって私たちを贖い、復活によって新しい命をもたらせてくださったイエス・キリストという神殿です。この新しい神殿を私たちはエクレスシア(教会)と呼びます。ここにおいては、律法の読み聞かせではなく福音のメッセージが語られ、動物の犠牲ではなく聖餐が行われるのです。この神殿に集い、この神殿で礼拝し、この神殿の体の一部として、生きていくうではありませんか。

(旭川聖マルコ教会嘱託司祭・稚内聖公会協働嘱託司祭)



常置委員会報告

第五回 三月一五日

協議事項

- 一、新型コロナウイルス対応に関する件
- ・三月同様、四月も十分な対応を継続する事とした。
- 二、「出会いと交わりの日」に関する件
- ・例年の六月の実施は見送ることとした。
- 三、教区礼拝に関する件
- ・コロナ感染対策を十分行い、

- 開催にむけ準備を進めることとした。
- 四、主教定年を一年後に控えて、北海道教区の今後に関して
- ・三月の教役者の集いでの協議を踏まえて今後の作業を進めることとした。
- 五、定期主教会(今年一〇月)開催に関する件
- ・北海道教区を会場とする主教会に教区として協力することを確認した。
- 六、聖ミカエル幼稚園、バチラー保育園舎建て替えに関する件
- ・両園の建築計画について報告を受け協議した。
- 七、リモート配信設備一式の購入について
- 今後、映像配信の機会が増えることに対応し、設備一式を整えることとした。
- 八、分区長、教誨師に関する件
- ・人事異動に伴い、分区長、教誨師変更について協議した。



主教室より

今からもう四〇年ほど前、私が神学校を卒業し、執事に叙任されて、大阪教区の教会に初めて赴任した時、私は血気盛んで自信满满だったでしょう。家庭集会や教会での聖書の学びで、滔々<sup>とうとう</sup>と、また長々としゃべったものでした。自分が神学校で学んできたことを聞いてもらいたかったのでしょうか。でも、そうしている自分には全く気付いていなかったのです。たまたまある家庭集会に来ていた姉に、「あなたは話し過ぎる」とくぎを刺されました。それに言うならば、あなたの話は難しくてよくわからない・・・と。多分、

非神話化論、トマス・アquinナス、化体説、生活の座(ジツツ・イム・レーベン)、解放の神学などをひけらかしたと思うのです。問題は、それが「キリストの福音」として信徒たちに伝わったかどうかということ。答えはもちろん「ノー」です。神学校での学びは豊かでした。その学びの蓄積が私の聖職者としての土台となっているのは確かです。しかし、それ自体は、決して「福音」ではありません。課題はそれらをどのように「福音」として人々に伝えるかということ。これは簡単ではありません。自分の信仰がいつも問われるのです。信仰は理屈ではありません。キリストの十字架と

復活によって、私の中に湧き上がる感謝と喜び、希望、いのちであり、そしてそれは外に向かつてほとばしり出ていく情熱です。「説教では自分を出さず、ひたすら神の啓示の言葉を語れ」と言われたことがあります。でも「神の啓示の言葉」はわかりやすく、福音として聴きたいのです。講解や説明ではなくて、一人の信仰者としてその人の生きざまの中で、どうしてそれが福音なのかを私は聴きたいし、私もそう語りた。イエス様のお語りになった福音は単純明快であつたはず。私たち聖職者の説教が「福音」となることを祈っています。

主教 ナタナエル 植松 誠

十 教区逝去教役者 記念聖餐式

五月二日(水)

午前一〇時三〇分

於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。 司祭 岩田 慶次郎

一九六〇年五月八日

伝道師 山田 致人

一九〇二年五月九日

公 示

救主降生2021年4月14日

日本聖公会北海道教区 主教 ナタナエル 植松 誠

神のお許しがあれば、下記のように聖職按手式を執行し、執事 ノア 上平 更を公会の司祭に叙任いたします。主にある諸教会の代祷をお願いいたします。

記

日 時 2021年5月15日(土)午後1時 場 所 日本聖公会北海道教区主教座聖堂(札幌キリスト教会) 〒060-0808 札幌市北区北8条西6丁目2-18

説 教 司祭 ベテロ 大町 信也 式典長 司祭 サムエル 吉野 暁生 祭色は、赤を用います。

なお、この聖職按手式は、北海道教区宣教開始147年記念教区礼拝の中で行われます。

- 伝道師 伊勢田 清美
- 一九三七年五月九日
- 伝道師 ペネロピー アン
- フィッシャー
- 一九八九年五月一日
- 司 祭 佐藤 信康
- 二〇〇九年五月一日
- 伝道師 エデイス ルイーザ
- ベアトリス ノートン
- 一九五二年五月一日
- 司 祭 興賀田 千秋
- 一九九七年五月二八日
- 司 祭 伊東 松太郎
- 一九三七年五月二三日



## ▽旭川聖マルコ教会

四月より管理牧師に就任される永谷司祭を迎えて一〇日に教会委員会を開催しました。

広谷司祭は現役教役者として四五年間お働きくださり、三月末で定年退職されました。なお、引き続き旭川でお働きいただけます。感謝です！

信徒の小河佳子さんは、「信徒の召命・奉仕コース」の神学生として聖公会神学院に入学されます。修了後は藤沢市に住まわれる由、今までのお交わりを感謝します。

保育園では、久しぶりに婦人会有志と卒園児でクッキングを行いました。一三日に卒園式がありました。一五名の

卒園児に神様の恵みが豊かにありますようにお祈りします。

## ▽岩見沢聖十字教会

三月二日、全道的に大雪。市内も交通麻痺。園バスが埋まったり、遅延したりと混乱。その後、数日自主登園。一七日、制約ある中での卒園式。

教会から花一輪が園児と担任、退職者に贈られる。初めての試みとしてYouTube動画配信。遠方の祖父母には好評でした。

礼拝は少人数が続いていますが、灯火を消す事なく毎週捧げられる事は大きな喜び。

市内医療従事者にワクチン接種開始。福島から希望のオンラインピック聖火リレーも始まる。もう少しの辛抱です。コロナの収束を祈りつつ。

## ▽釧路聖パウロ教会

## ▽厚岸聖オーガスチン教会

三月初旬、釧路市の幾つかの病院と介護施設でコロナウイルスが発生。街に人通りが減る中、当教会も厚岸オーガスチン教会のバスツアー礼

拝を中止するなど、暗い雰囲気。ただ、嬉しいこともありました。

実は数か月前に教会の鐘紐が切れて、YouTubeのチャンネルを代用していたのですが、田中亮一さんのご尽力で高所作業車を手配いただき、修理が完成。大斎節第四日にはまるで春の到来を告げるような柔らかく優しい音が、町を包み込みました。「やはり生の音はいい」一筋の光が見えた気持ちでした。主に感謝。

頌栄保育園は卒園式も無事終了。監査も終わり、鳴海園長の奮闘ぶりが光ります。

松井司祭は四月四日のイースター、五日の入園・対面式を終えて即、異動される予定です。いよいよです。

松井司祭様、これまで一〇年間、親身のご指導ありがとうございました。苦小牧でも健康に留意し、ご活躍ください。主の恵みを。

## ▽小樽聖公会

三月一二日、パウロ坂正志さんが逝去(九三歳一ヶ月)

されました。天候に恵まれたなか、一五日に教会で葬送式が行われました。召されし霊の平安とご家族のためお祈りいたします。

今冬は雪の多い小樽でしたが、教会前の道路脇に積み上げられた雪も、ようやく市の排雪作業が入り道が広くなり、中旬以降の暖かさで一気に歩きやすくなりました。

二一日(日)には有志による「しゅろの十字架」作り。もうすぐイースターということを実感いたします。

## ▽新冠聖フランシス教会

三月一七日(水)午前、婦人たちの有志がイースターに備えて礼拝堂内外の清掃を行いました。作業後は、お昼ごはんを共にしながら、おしゃべりタイム。とても有意義な時を過ごしました。

二八日(復活前主日)植松主教さまの前期のご巡錫をいただきました。三千代奥さまも一緒です。いつも復活日の礼拝があるため、棕櫚の主日は初めてです。棕櫚の十字

架の祝別をしていただき、この十字架についてのメッセージをたまわりました。さあ、もうすぐイースターです。

## ▽帯広聖公会

三月に入り、暖かい日も増えてきました。コロナ禍に教会で礼拝を守ることができていることを感謝する毎日です。五日世界祈祷日、一八日幼稚園卒園式、二一日永谷管理牧師の帯広での最後の司式日でした。サウナとコーヒーと音楽を愛する司祭の道北教区での働きが豊かなものになりますように。三〇日、高橋猷一兄が天に召されました。長年にわたる教会活動への奉仕を感謝申し上げるとともに、魂の平安をお祈り申し上げます。

▽稚内聖公会  
♪吹雪が晴れて しばれがゆるみ 渚の貝も 眠りが覚めた。三月一四日、四人が集まって聖餐式。心配していた水道は無事に貫通。礼拝堂も二時間ストープを焚き続けてようやくよくよく人心地が！嬉しいですね。教会を埋

め尽くしていた雪も半分ぐら  
いは減ったかな。礼拝後、イ  
スターの相談。四月一四日予  
定通り行うことに。八年間管  
理牧師を務めてきた広谷司祭  
が定年退職のため、四月より  
永谷亮司祭に交代となる。  
(アリョーシヤの国へ白鳥帰  
りけり わぶん)

▽札幌キリスト教会

教会の礼拝堂の窓から見え  
る北大構内の雪も溶け、どん  
ぐりの木々も春を迎えます。  
春は出会いと別れの季節。

三月一日、三浦千晴聖職候補  
生は聖公会神学院での三年間  
の学びを終えられ四月より当  
教会に勤務、今後のお働きに  
お祈り致します。上平執事は  
二年間の当教会の任を解か  
れ、その沢山のお働きに感謝  
します。またお会い出来る時  
を楽しみに。三月一四日、猪  
又菜緒さんが洗礼を受けら  
れ、三月一九日に栃木県那須  
の「アジア学院」へ長期ボラ  
ンティアに赴かれました。

▽札幌聖ミカエル教会

幼稚園では今年、三二名が

卒園、保護者の出席は一名に  
限定ですが、手前味噌ながら  
すばらしい卒園式でした。子  
どもたちも先生も、この一年  
の頑張りが報われたように思  
います。七日は卒園児を日曜  
学校に引き継ぐお迎え式。今  
年も多くの卒園児が日曜学校  
に関心をもち、お母さんと一  
緒に出席してくれて感謝で  
す。このままずっとミカエル  
で育って欲しいと願うばかり  
です。聖週は毎朝の聖餐式、  
また聖木曜日には昨年は中止  
した洗足を回復、自分の足を  
洗うイエス様の姿を思い、言  
葉を超えた暖かさを覚えま  
す。旧国際青年寮の寮母とし  
てご奉仕くださった尾崎さ  
ん、牧師は引越を終えました。  
あとは幼稚園の着工を待つば  
かりです。

▽新札幌聖ニコラス教会

二一日、大斎節第五主日は  
礼拝後、少人数で集まり、あ  
あでもないこうでもないとい  
り方を思い出しながら、シユ  
ロの十字架作り。

毎週、それぞれに手作り品

を持ち寄りミニバザーを開い  
ている中、津田一枝姉からの  
毎年東京からいただく夏みか  
んで作ったマーメレードの献  
品に感激。  
二八日、翌週のイースター  
に備えて、祭壇聖具、礼拝堂  
の大掃除。雪よけの板壁も外  
され、教会玄関に春の光が差  
し込んでいます。

▽苫小牧聖ルカ教会

今年の春は急に暖かくなっ  
たり、冬に逆戻りしたかのよ  
うなお天気。昨年の三月、コ  
ロナウイルス感染防止を受け  
て生活も礼拝も大きく変わ  
りました。一年経ち、なんと  
なりましたが新しい生活様式に馴  
染んできたのではないかと思  
います。吉野司祭の異動が発  
表されました。七年間本当に  
ありがとございました。

三月一四日は、植松主教によ

る聖餐式が行われ、久しぶり  
に教会の中にオルガンの音色  
が響き渡りました。幼稚園は  
今年も元気な子どもたちが希  
望を胸に園舎を巣立って行き  
ました。

▽函館聖ヨハネ教会

司祭になって五〇周年の藤  
井司祭、三月初旬に足の痛み  
と痺れに襲われました。病院  
と鍼灸院に通い、幸いにも治  
まり普段の生活に戻っていま  
す。その間主教練には大いに  
助けて頂きました。感謝。牧  
師館は改修工事を終え、一日  
の大半を一階で過ごすことが  
できるようになり、老体への  
負担は少しばかり減ったよう  
です。痛みと痺れに襲われ  
る前で本当に良かったこと。  
一日には東日本大震災一〇  
周年の祈り、様々に思いを馳  
せる棕櫚の十字架作りとなり  
ました。

▽平取聖公会

例年より早い雪解けです  
が、お散歩に出た保育園児が  
宝ものを見つけたと言ってい  
ます。どんな色と聞くと黄色  
かった、金色だったと。教会  
の庭の福寿草が満開に咲いて  
いるのを見てのことです。年  
長児一名が巣立っていきま  
した。

三月二四日に保育園の理事

会が開かれ、提案されたバチ  
ラー保育園の改築案が承認さ  
れました。二〇二三年四月開  
設にむけて現園舎での保育を  
続けながらの建設となりま  
す。

三月最後の週に植松主教の  
巡回をいただき、同行の三千  
代夫人ともどもイースター前  
主日の礼拝を捧げることがで  
きました。感謝。

▽有珠聖公会

例年より早い春の訪れに、  
教会を囲む木々の芽も膨らみ  
色づいています。信徒家庭の  
春の農作業も始まりました。  
三月二八日、復活前主日の  
聖餐式。手に手に棕櫚の枝を  
掲げて入堂聖歌を歌いまし  
た。

復活日は、当日の午後五時

からの聖餐式を予定。茶話会  
は今年も中止ですが、心から  
お祝いします。  
四月より毎週土曜日の午前  
九時から午後四時、バチラー  
夫妻記念室の開館プログラム  
がオープン。今年も沢山の来  
会を願っています。

## ▽留萌キリスト教会

積雪の多かった冬は三月末の暖気で春に変わりました。相変わらず大斎節らしい活動はできませんが、主日の礼拝だけは継続して三名から五名ほどで祈っています。

## 田中(近藤)泉さんは、女

の子を出産されました。おめでとございます。曾祖母である金岩さんは大喜びです。

イースターの会食を計画していましたが、コロナ変異株に警戒が必要と判断して断念。けれどもお弁当を用意して、それぞれ持ち帰って食べることにしました。欠席の方には手分けしてお届けします。

## ▽室蘭聖マタイ教会

三月一四日、吉野司祭来教し、教会員が高齢化して二階の階段を上るのが大変なため、一階のホールに田中兄が作ってくださったミニ祭壇で、聖餐式が行われました。

三月二一日は久し振りに湿った雪が降り、雪かきが大変でした。

## 二八日しゅろの日曜日は吉

野司祭より聖餐を受け、祝別されたしゅろの葉の十字架を一枚ずついただき、主の受難と勝利のしるしを祈りました。その後マタイ福音書の七章を輪読しました。感謝。

## ▽紋別聖マリヤ教会

三月に入り、紋別は流水が接岸となり、みぞれ雪で一面銀世界になり、それでも春の足音が聞こえて来て嬉しいですね。七日(日)、主教さんが来てくださり、聖餐式をしてくださいました。

三月一八日(木)、紋別幼稚園卒園式が行われ、三人の子どもたちが巣立って行きました。元気で成長されることを祈っています。大斎節も一週間となり、復活日まで祈りを捧げます。

## ▽深川聖三一教会

三月二日あけぼの保育園の卒園感謝礼拝、チャプレン製作の「光の学校卒業証」が八名の卒園児に贈られる。神の子・光の子の成長をお祈り致します。一〇日、道北分区教

## 役者会をオンラインで開催

新管理牧師の永谷亮司祭臨席、四月からの大綱を協議す。新管理牧師は道北四教会が版図、お助けいたします。一三日、深川あけぼの保育園第四八回卒園式が挙行される。

## 二二日、教会報発送作業。マ

タイ鈴木勉氏九一歳で遠方で逝去され献体、向陽のご舎弟鈴木榮文氏逝去記念献金のため礼拝に詣でられる。感謝歓迎。

## ▽今金インマヌエル教会

三月は暖かい日が続き、春の陽射しが心地良く、畑の土も九割方顔を出して種蒔き作業に向けて気忙しくなってきました。一四日の礼拝には、藤井司祭のピンチを救うべく、植松主教様御夫妻が来てくださり、司祭の腰痛が快方

## へ向かうよう祈りつつ、無事

に礼拝を守る事が出来た事に感謝致します。そして皆の祈りが通じたのか、二八日の礼拝には、イエス様より一足早く復活された藤井司祭と直夫人が来てくださりました。で

## も、安堵と共に、無理をなさ

らないで欲しいと思う私達でした。...

## ▽北見聖ヤコブ教会

屋根からの落雪の山はまだありますが、そこ以外はほとんど消えました。半年間「水落とし」をして来ましたが、もう大丈夫なようです。総会を三月七日に行い、私たちの愛と涙をよくご存じのお方を単純素朴に信頼していくことを確認いたしました。また、会計担当者が高橋農夫也さん

から岡嘉彦さんに代わるので準備を進めています。当教会のオルガンについて今調べているのですが、オルガン一つでも歴史とたくさんのお話が

## ▽網走聖ペテロ教会

祈りが込み込んでいます。駐車場の連日の排水作業も春の風景。三月一八日、ファミリーホームのあて大斎家庭集会を七名で行い、ヨブ記から「祝福と呪い」について黙想いたしました。二二日、ペテロの会では賛美の後、棕櫚

## の十字架を作りました。二八

日、棕櫚の主日を一名で守り、枝の生けられた祭壇に向かい、棕櫚を掲げた司祭が入堂、「主の勝利のしるしです」との言葉と共に棕櫚の十字架をいただきました。網走刑務所の複数の受刑者より司祭の詩集を求める声が起こっており、驚いています。

## ▽聖マーガレット教会

三月七日(日)、および一四日(日)。両主日の代祷において「東日本大震災一〇周年」を覚え、犠牲者、被災者のため祈りを捧げる。東北教区が作成した祈禱文を用いる。終わりの見えない福島第一原子力発電所事故、その処理作業。「ふるさとを離れて生活する人、危険な作業に従事する人とその家族をお守り

ください」。

## 一九日(金)、ヤコブ川口哲

男さん(八九歳)逝去。ご遺族の意向により一般葬儀場にて家族葬。天国における平安と光明を祈る。そして、ご遺族への主よりの慰めを祈る。